

2017.01.27

1月22日（日）、王寺町地域交流センターのリーベルホールにて歴史リレー講座「大和の古都はじめ」第28回を開催し、県内外から164名が参加されました。

講師は奈良県立大学 客員教授 岡本彰夫氏で、「近世大和の風情」をテーマにご講演をいただきました。講演では、春日社興福寺が全国の社寺のなかでも3番目に多い石高をもつことや、たくさんの末寺をもつ大きな寺であったこと、それに奈良の社寺と宮廷には今も密接な繋がりがあることなどをお話しいただきました。また、ユーモアを交えながら、江戸時代の大奥や宮中の席次についてもお話しいただき、最後に、口頭だけではやがて消えてしまう伝承を形として後世に残す手段が儀式であり、だからこそ今後も伝統的な儀式は大事にすべきであると締め括られました。



「大和の古都はじめ」は、事前申込み不要の先着順で受講していただくことができます。

12時15分から入場券を配布・開場します。

定員の270名を超えた場合は、中継会場での受講となりますのであらかじめご了承ください。

平成28年度 歴史リレー講座「大和の古都はじめ」の予定

回数	日時	講師・内容
第29回	2月19日(日) 13:30~15:00	「鑑真和上の足跡をたどる」 西山 厚(帝塚山大学 教授)
第30回	3月19日(日) 13:30~15:00	「隋使の難波津から推古朝の 小墾田宮へのルートをめぐる」 千田 稔(奈良県立図書館 館長)
会場	王寺町地域交流センター リーベルホール (JR王寺駅直結 リーべる王寺東館5階)	
開催日	平成27年10月~平成29年3月(毎月第3日曜日) ※平成29年1月については、第4日曜日	
定員	各回 270名(定員を超えた場合は別室会場にて中継による受講になります)	
受講料	各回 500円	

岡島学芸員による歴史ミニ講座のお知らせ

王寺町教育委員会岡島学芸員による歴史ミニ講座が 11 時 30 分より始まります。

30 分程度の講座ですのでお気軽にご参加ください。



テーマは「片岡地域の古代寺院」（全 9 回）です。

2月19日（日）	第2回 「西安寺跡に関する研究」
3月19日（日）	第3回 「西安寺跡塔基壇の発掘調査」

4月16日(日)	第4回	「西安寺の金堂跡を求めて」
5月21日(日)	第5回	「片岡王寺跡に関する研究」
6月18日(日)	第6回	「片岡王寺の寺域はどこまでか」
7月16日(日)	第7回	「記録に見る片岡王寺の伽藍」
8月20日(日)	第8回	「尼寺廃寺跡と片岡王寺」
9月17日(日)	第9回	「寺院から見た古代の片岡地域」
会場	王寺町地域交流センター リーベルルーム (JR 王寺駅直結 リーバー王寺東館5階)	
定員	各回 100 名程度	
受講料	無料	